

防災の ススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501



入場無料 南海トラフ地震 対策セミナー | 開講 |

想定を超える災害にどう向かい合えばいいのか

危機に主体的に備えるために

講師 片田 敏孝氏
東京大学大学院 特任教授

5/12 日 14:30 ~ 16:40
夜須公民館 マリンホール

片田教授は「自然災害による犠牲者ゼロの社会づくり」を目指して、災害への危機管理対応・防災教育のあり方等について研究し、地域での防災活動を全国各地で展開しています。教授が提唱する「津波避難の三原則」は東日本大震災で多くの子どもたちの命を救ったとされ「釜石の奇跡」とも呼ばれています。南海トラフ地震に対する自助・共助・公助などの備えについて講演いただきます。

手話通訳
要約筆記
あります

今年度の受け付け が始まりました | お家の耐震化 がしやすくなりました

市では住まいの地震の備えを支援しています。住宅の耐震化について今年度から補助金額が増額しました。
■住宅政策課 ☎57-7536

住宅耐震化
詳しくはコチラ

家具転倒防止
詳しくはコチラ

受付期間
令和7年
1/8
まで

木造住宅の耐震診断が 無料でできます

耐震診断をご希望の方へ
耐震診断士を派遣します



対象の建物 昭和56年5月31日までに完成した木造住宅 ※その他一定の条件があります

受付期間
令和7年
1/8
まで

住宅の耐震化にかかる 設計・改修工事の補助

対象の建物 昭和56年5月31日までに完成した住宅のうち、耐震診断で総合評点が1.0未満の住宅(木造 / 非木造は問いません) ※その他一定の条件があります

補助額 設計…上限 30.5万円 / 1戸
工事…上限 165万円 / 1戸

ご注意

- 設計 / 工事開始後の申請は対象外です
- 設計 / 工事それぞれ令和7年2月末までに完了することが条件です

受付期間
令和7年
1/31
まで

住宅内の地震の備え を支援します

家具や電化製品に取り付ける転倒防止器具等の購入費用の一部を補助します
器具等を取り付ける世帯の世帯主の方から申請ができます(1世帯につき1回限り)

- 補助対象となるもの**
- 01 家具等転倒防止器具または照明器具等の落下防止器具
 - 02 ガラス飛散防止フィルム
 - 03 感震ブレーカー(取付工事費は除く)
 - 04 食器棚等の扉の開閉防止金具



補助額 補助対象経費の1/2(上限1万円)
※100円未満は切り捨て

- 必要書類**
- 01 交付申請書
 - 02 購入品の内容を記載した領収書・レシート等の原本
 - 03 申請者の市税の滞納のない証明書

※自身で取り付けが難しい方には作業員の派遣支援をしています

令和6年能登半島地震 被災地派遣記録

地震に備え、まち全体で運営する避難所へ

全国知事会を通じた応援要請に基づき、15次避難所運営チームとして、金沢市に派遣されました。15次避難所とは、災害直後に開設される避難所(1次避難所)から長期間生活できる仮設住宅など(2次避難所)の受け入れ先が決まるまで滞在する避難所です。避難所生活が原因で亡くなる災害関連死を防ぐために設置されました。

避難所での業務は、入退所者の管理や居住・共有スペースの清掃、支援助資の管理、行政支援サービスの周知などでした。ピーク時には、数十人単位で入所者と退所者が入れ替わるような出入りの激しい避難所で、入所者が住んでいる自治体から問い合わせがくるため、次の移動先は必ず確認する必要があります。

また毎朝、入所者の生活状況の聞き取りを行いました。ほとんどが他愛もない会話でしたが、それでも「遠くからきてくれてありがとう」「話を聞いてくれて楽になった」という言葉をいただいた時は、避難所生活の精神的負担の大きさを痛感するとともに少しは被災者の支援になっているのかなと感じたことでした。

避難所では私たち以外にも、石

川県内外の自治体職員や保健師・看護師チーム、ボランティアの方などが24時間交代しながら業務にあたりました。避難所を運営するには避難者も含め多くの方々の協力が求められ、改めて確認させてもらいました。

南海トラフ地震が発生すると香南市の避難所も大変厳しい状況になると思います。全員が被災者である状況で、避難所を運営しなければなりません。災害が起きてからではなく、起きる前からのように運営するのをイメージして備えることが重要となります。

特定の方に負担が偏ると、長期間の避難所生活は必ず限界がきます。「自分ができることだけでも運営に関わろう」という気持ちを持ってもらうだけで避難所生活は変わってきます。「地域全体で避難所を運営していく」という思いを持っていただければ、より更に取り組んでいきたいと思っています。

また、最終日には輪島市を視察しましたが、被災地の被害の深刻さは想像を超えるものでした。

今回の派遣では大変貴重な経験をさせていただきました。これらの経験を今後の災害対策に活かし、少しでも香南市の防災・減災につなげていければと思います。

派遣職員・田村 紘規 主幹